

平成29年9月8日

保護者の皆様

新宿区立津久戸小学校長 八田 瑞穂

全国学力・学習状況調査の結果について

29年4月18日（火）に、6年生が参加した「全国学力・学習状況調査」の結果について、公表となりましたので、お知らせします。全国の6年生が全員参加の調査です。

（参加人数39名）

記

1、調査結果概要（数字は平均正答率％）個人の記録と東京都・全国の比較

	国語 A(知識)	国語 B(活用)	算数 A(知識)	算数 B(活用)
個人の記録				
東京都	76	60	81	49
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

2、本校の実態

- ・本校の実態を数字でお知らせすべきところですが、本調査の趣旨を踏まえ、本校の正答率の公表は差し控えます。
- ・すべての教科において、国語 A（知識）国語 B（活用）算数 A（知識）算数 B（活用）のいずれにおいても、東京都・全国の平均より10ポイント程度、上回っています。
- ・得点の中央値（得点を大きさの順にならべ替えたとき丁度真ん中に位置する値）がいずれにおいても、東京都や全国の中央値より上です。
特定の子だけができるのではなく、ほとんどの児童がよくできています。棒グラフが大きく右寄りです。
- ・標準偏差の数値をみると算数国語の A と算数の A・B とも、全国・都と比べて低いです。（国語 B のみ同値）これは、分布においてばらつきの程度が小さいことを示しています。いわゆる2極分化がありません。

3、分析と今後の方針

- ・学校や家庭での学習への取り組みの効果がでています。
B問題がよくできているのは、日常の学習において、知識・理解にとどまるのではなく、応用・活用する力を育てているからです。しかし、B問題はA問題に比べて、ばらつきの程度が大きいことも事実です。得点の低い層への援助が必要です。
- ・今後も、授業の改善に努め、学校と家庭の連携をさらに深めます。
- ・正答数の少ない児童に対しては、少人数での指導や宿題の出し方などを検討していきます。東京ベーシックドリルなどにおいて基礎・基本の学力をつけていきます。
また、放課後学習支援の活用をお勧めします。

4、その他

- ・お子さんの学力を数値だけで比較しないで下さい。学習の進め方等の心配がありましたら担任やSCなどにご遠慮なくご相談下さい。